

インコラフェニフ+ビニメチニフ+アービタックス療法を受けられる方へ

担当薬剤師

外科 ID:

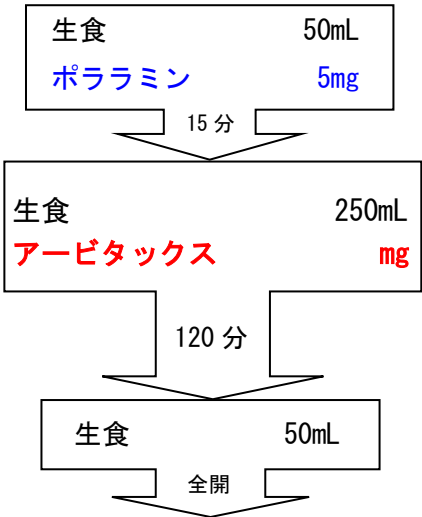
様

【投与スケジュール】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14 日目
アービタックス (点滴)	●													
ビラフトビ (飲み薬)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メクトビ (飲み薬)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- ☆ 2 週間毎に繰り返し行います。
- ☆ 検査の結果によってスケジュールや投与量が変わることがあります。

【点滴内容】



ポララミン：アレルギー症状を抑える薬です。

アービタックス：がん細胞の増殖を抑える薬です。



【内服薬について】

□ ビラフトビカプセル 75mg：1 日 1 回朝食後 1 回 4 カプセル 毎日内服



□ メクトビ錠 15mg：1 日 2 回 12 時間程度空ける 1 回 3 錠 毎日内服



がん細胞の増殖を抑える薬です。



注意) 飲めなかった薬は病院に持ってきてしょう。

副作用の状況で薬の量が変わることがあります。

【主な副作用と対策】

インフュージョン・リアクション/アナフィラキシー様症状：アービタックスの点滴を始めてから、発熱・悪寒・吐き気・頭痛・疼痛・痒み・発疹・咳・胸の重苦しさなどのアレルギーに似た症状が起こることがあります。違和感があるようでしたら知らせてください。

血管外漏出：針の刺入部の皮膚が赤くなる・腫れる・痛い・熱っぽい・かゆみが出るなどの症状が現れる場合があります。異常を感じたらすぐに知らせてください。

皮膚への影響：顔や背中、胸、腕などににきびのような発疹、皮膚の乾燥・炎症が多くの方に起こります。石鹸を刺激の少ないものに変更したり、保湿剤を使って乾燥を防ぎましょう。また、日焼け止めなどで紫外線による刺激も避けましょう。人によっては、手足の爪に影響が出る場合があります。爪が巻き込んで化膿したりすることがあります。ひどくなる前にお知らせ下さい。皮膚症状対策については別紙を参照してください。



手足症候群：手足がヒリヒリ・チクチクする、赤く腫れる、皮膚にひび割れや水疱ができ、痛みが生じる事があります。刺激の少ないハンドクリームや保湿剤を使用し、手足の乾燥を防ぎましょう。塗り薬が処方されている場合には、指示通りに使用してください。そのほかにも、皮膚の色素沈着や爪の色が変化したり変形したりすることもあります。



食欲不振・悪心・嘔吐：吐き気止めもありますのでつらい時には申し出てください。また、食事はにの少ないもの・冷たいもの・食べられるものを少しずつ、食べられる分だけ摂取するようにしましょう。

下痢：排便回数が増えたり、下痢になったりすることがあります。下痢をしている間は脱水にならないように水分摂取をしましょう。症状によっては下痢止めを使用することがあります。また、1日に4回以上の下痢や血の混じった便が出るときには連絡してください。



便秘：水分を摂取したり、お腹のマッサージをしましょう。下剤や便を軟らかくする薬も使います。

脱毛：脱毛が起こることがあります(5%未満)。

低マグネシウム血症：体の中の電解質(イオンバランス)がくずれ、食欲不振や眠気、脱力感などを生じることがあります。

疲労感・全身倦怠感：全身がだるくなったり、力が抜けたような感じになることがあります。十分な休息をとしましょう。

口内炎：食後に歯磨きをするなど、口の中は清潔に保っておきましょう。

味覚障害：食べ物の味が変わって感じる場合があります。治療が終了すれば徐々に治ります。

皮膚悪性腫瘍：非常にまれですが皮膚にがんができる場合があります。急に「いぼ」ができて大きくなったり、皮膚の表面がただれるなどが見られる場合にはすぐにお知らせ下さい。

眼障害：眼の乾燥や見えにくさ、違和感といった症状がありましたらお知らせください。



出血：出血が生じることがあります。いつもと違うと感じたらお知らせ下さい。

高血圧：血圧が高くなる場合があります。もともと血圧を下げる薬を飲んでいる方は特に注意してください。自宅での血圧測定をお勧めします。

筋肉痛・関節痛：肩や背中、腰、腕などの筋肉が痛くなったり、関節が痛くなる場合があります。辛い時には痛み止めを使いますので相談してください。

横紋筋融解症：横紋筋融解症を起こす場合があります。脱力感や赤色尿などが見られる場合にはお知らせ下さい。

腎・肝障害：お薬によって腎臓や肝臓に影響が出る場合があります。



心障害：薬の影響で心臓に負担がかかる場合があります。



間質性肺炎：非常に稀ですが、薬の影響で肺炎が起こる場合があります。咳・発熱・息切れといった症状が続くようでしたらお知らせください。

☆製薬メーカー作成のパンフレットも参考にしてください。

【処方薬について】

*** この治療を受けられる方には、副作用予防として薬が処方されることがあります。**

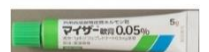
□ ミノマイシンカプセル：1日2回 朝・夕食後 1回1カプセル



□ ヒルドイドローション：1日数回 乾燥した部分に塗布



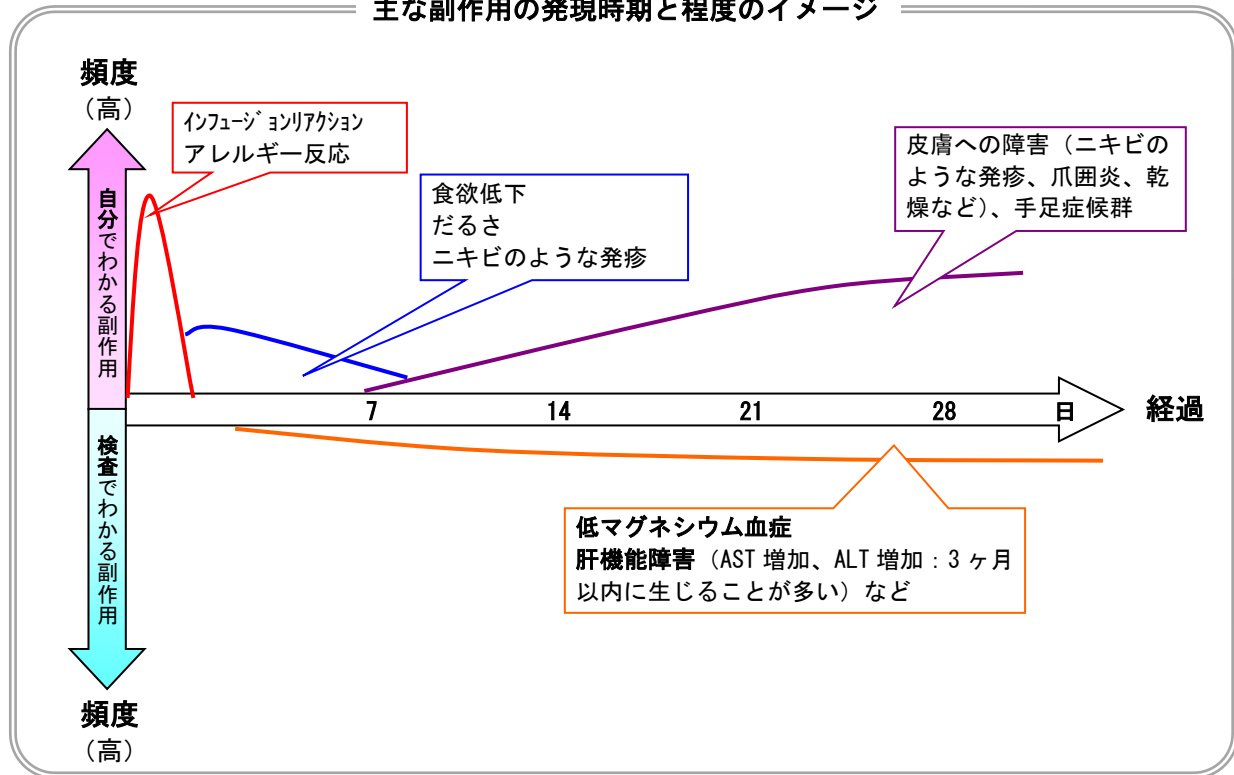
□ マイザー軟膏：1日2回 顔以外の赤くなったり皮疹がでた部分に塗布



□ ロコイドクリーム：1日2回 顔の赤くなったり皮疹が出た部分に塗布



主な副作用の発現時期と程度のイメージ



【日常生活で注意していただきたいこと】

- ① 抗がん薬は投与後しばらくの間、尿や便に残ります。抗がん薬投与後 2 日間 (48 時間) は、トイレのふたを閉めて水を 2 回流しましょう。男性の方は尿の飛び散りを防ぐために座って排尿しましょう。
- ② ご家族が吐物や排泄物を処理する場合には必ず手袋をしましょう。
汚染したゴミはビニール袋に入れて口元をしっかりと閉じてから廃棄してください。
- ③ 経口抗がん薬の内服はできる限り患者さん自身で行いましょう。
経口抗がん薬を素手で触った後には、内服後すぐに石けんと流水で手を洗いましょう。



副作用の全てが現れるわけではありません。

また、これら以外の副作用が現れる場合もあります。

気になる症状がありましたら必ず医師・薬剤師・看護師にご相談ください。

この説明書はかかりつけ医やかかりつけ薬局薬剤師にもお見せください。



お薬に関する相談先

北信総合病院 (代表) 0269-22-2151
薬剤部 医薬品情報管理室 内線 2530

